

まきどき・植えどき・収穫どき  
**どきどき情報7月**

**生産者情報コーナー** 今回の生産者情報はお休みします。

野菜の作業

種まき	定植 (植付け)	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウレンソウ</li> <li>・コマツナ</li> <li>・ニンジン</li> <li>・ダイコン</li> <li>・カブ</li> <li>など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チンゲンサイ</li> <li>・キュウリ (抑制栽培)</li> <li>・ブロッコリー</li> <li>・カリフラワー</li> <li>など</li> </ul>	<p><b>【ヤマゴボウの栽培】</b></p> <p>乾燥で発芽が悪くなるので梅雨の期間に播種します。 播種7日以上前に10㎡あたり苦土石灰2kg、堆肥30kg化成肥料を800g程度施用し深く耕しておく。(肥沃なところは無肥料でも可)</p> <p>乾燥をきらうので、畦は余り高くしない。覆土は5~6mm敷きワラをして灌水する。本葉3枚位までは乾燥に注意する。混みあっているところだけ間引きをする。トウ立ちしやすいので、9月に1~2回トウ立ちした株を抜き取る。霜がおり、莖葉がかれたところに鍬でほりあげ収穫する。</p>
<p>※高温と乾燥で発芽が悪くなります。播種前後の灌水、発芽までの遮光、夕方涼しくなったからの種まき、芽だししたの種まきなど工夫してみましょう！</p>	<p><b>収穫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウレンソウ</li> <li>・青ジソ</li> <li>・スイートコーン</li> <li>・ピーマン</li> <li>・キュウリ</li> <li>・トマト</li> <li>・ユウガオ</li> <li>・ジャガイモ</li> <li>など他多数</li> </ul>	<p><b>ヤマゴボウの播種</b></p> <p>◎栽培のポイント！！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌を湿らせて種まきする</li> <li>・発芽~本葉3枚までは乾燥させない</li> <li>・灌水は土の表面を硬くしないように</li> </ul>

【夏の果菜の収穫の目安】

・スイカ

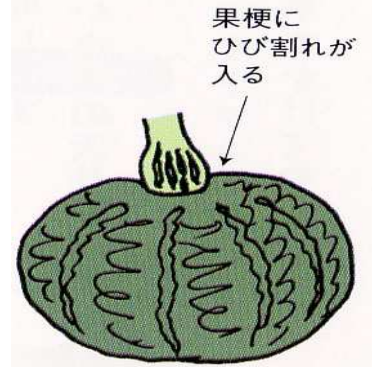
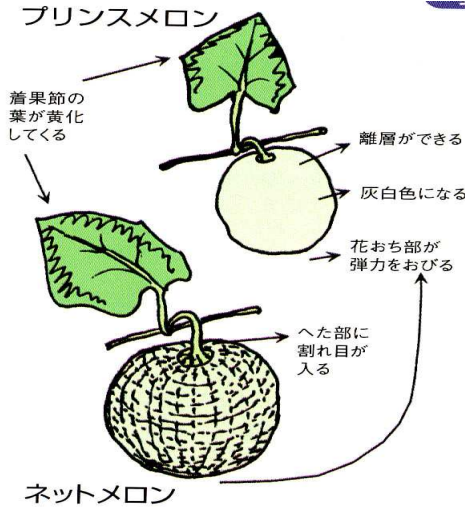
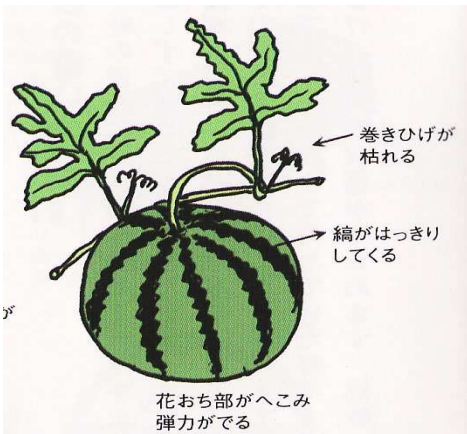
小玉スイカは35~40日  
大玉スイカは45~50日

・メロン

プリンスメロンは開花後35~40日  
ネットメロンは開花後50~55日

・カボチャ

開花後35~40日



【秋野菜の種まき】

種類	播種期	定植期	種類	播種期	定植期
ハクサイ	7/下~8/中	8/下~9/中	ブロッコリー	6/下~7/中	7/下~8/上
レタス	7/下~8/中	8/中~9/上	カリフラワー	6/下~7/中	7/下~8/上
チンゲンサイ	8/下~9/中	9/中~9/下	タアサイ	7/下~9/上	8/中~9/中
ダイコン	8/中~8/下				

## ◎葉ボタン

## ●品種の候補と栽培（タキイ種苗カタログより要約）

種 類	品 種	特 徴
F1 高性・切花用種	バイカラートーチ	草丈 60～80cm。着色部は白色で、中心部が桃色になる日の丸タイプ。葉は開張性。
	F1 冬紅	草丈 60～70cm。葉枚数少なく、やや横開きになる。芯は紫がかった濃紅色
矮性種	つぐみ	葉がやや波打つ丸葉タイプの矮性種。葉枚数が多く葉もかたくてつまりがよく、矮化剤を利用してのポット栽培においても、ポリウム満点に仕上げることができる。
	紅すずめ	小型作りに最適なちりめん系の矮性小型品種で、葉数が多く、しまりが非常によい。小型作りはもちろんのこと、畑地で作ってもバランスよく仕上がる。



(バイカラートーチ)



(F1 冬紅)



(つぐみ)



(紅すずめ)

## ●F1 高性品種の切り花出荷

## ●播種～育苗

切花用として草丈を伸ばす場合は、7月中旬～下旬にかけて播種。200穴トレイに1粒まきする。発芽が揃ってきたら、水やりを控えて日光に当てて徒長を防ぐ。

## ●定植～出荷

播種後15～20日で、本葉2～3枚になったら12～15cm間隔に定植する。定植は日差しの強い日中を避けて行い、スムーズに根を活着させる。植付時に、茎がまっすぐに伸びるように株元の土をしっかりと押さえておく。元肥は、成分(N-P-Kとも)で10a当たり8～12kg施す。肥料が残っている場合は無肥料でもよい。葉色や生育が悪い場合は9月下旬までに追肥を施す。着色が始まる10月中下旬頃まで肥料分が残ると、きれいに着色しないことがあるので注意。灌水は、定植直後は十分に行うが、活着以降は控えめにして茎を硬く育て、曲がらないようにする。茎の太りを抑えて伸びやすくするには、定植後、本葉15～20枚頃から順次3～4回ぐらい下葉を落として風通しをよくすることが大切。強風などで倒伏しそうな場合は、フラワーネットや支柱を立てて防止する。

## ●矮性種の鉢栽培

## ●播種～育苗

7月下旬～8月上旬にかけて播種する。200穴トレイに1粒播き。発芽が揃ったら灌水は控え日光にあて、風通しの良い場所で育苗し徒長させないようにする。子葉が揃った時点でBナインの散布で徒長を抑えることができる。

## ●定植

播種後15～20日、本葉2～3枚時に30cm間隔に定植。日差しの強い日中を避けて植える。元肥・追肥は、高性品種に準ずる。

## ●ポット栽培

8月上旬に200～288穴トレイに播種し、播種後20～25日頃に9～10.5cmポットにあげる。矮化剤処理は子葉が揃った時と定植前にナイン100倍溶液を散布する。生育を見ながら必要であれば更に矮化剤を処理する。

## ●病虫害防除

キャベツと同様アオムシやコナガが発生するので、カンレイシャの被覆や薬剤散布を行う。

あさつゆでは、葉ボタンの苗5000本を育苗し、ポット用の用土とともに希望者に有料で配布する予定です。品種は現在検討中です。

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター  
地域生活係 櫻井普及員 (Tel.25-7156)